

看護者の心



小児看護学内実習
—赤ちゃんへの授乳— (撮影:阿部 裕美)

特集 就職活動を支援する

■ 日本語検定 / 公開講座

■ 授業・実習風景⑩ / 事務部から

■ サークル紹介①

■ オペレッタ / キラリ いい顔⑦

■ 教員の活動紹介⑯ / 先輩から後輩へ⑯

■ オープンキャンパス / 新任教職員紹介

■ インフォメーション

特集

就職活動を支援する



就職活動において成果を収め、更に職場で評価される仕事をしていくには、社会人基礎力が必要です。それは「常識」「マナー・エチケット」「コミュニケーション力」「表現力」であり、学生の間にいかにこれらの能力を身につけるかということがポイントとなります。本学では、学生の皆さんがこういった力を養っていくための支援として、この4月から就職対策講座を開講しています。

本学では、大部分の卒業生が病院、医療検査機関、保育・福祉施設に就職していきます。したがって、他の四年制大学や短期大学に比べ、就職活動期間の始まりが遅く、学科によっても異なりますが、最終学年の九月から一月が就職戦線のピークとなります。そのため、内定が出るのが卒業後の国家試験の合格発表後という学生もいますが、就職率は毎年ほぼ100%を維持しています。求人数も平成十九年度二千六十一件、平成二十年度二千五百三十五件と順調に増加しており、特に求人が殺到している看護科、介護福祉科では多くの病院・施設にお断りしなければならぬほどです。とはいえ、医療・福祉系の短大の多くは四年制大学に移行し、その卒業生と競争して就職を勝ちとっていかねばならない状況が生まれていることも事実です。本学学生の専門知識・技能の高さは社会の認知するところではありますが、一般教養的な側面にやや弱いところがあるということが指摘されています。

そこで、これまで学科単位で行ってきた「就職先選び」「就職先情報の提供」「就職模擬試験」などの個別の就職支援に加え、平成十九年度から全学的支援を始めました。まず、全学統一の履歴書を用意し、担当教員による履歴書の書き方講座を開講しました。履歴書は応募者の第一印象を形成する「顔」なので、真剣に、全身全霊を持って記入する必要があります。また、川崎医療福祉大学医療秘書学

科の協力を得て接遇のプロによる就職支援マナー講座を実施しました。これらの講座は学生にとって有益であったばかりでなく、学生を指導する立場にある各学科教員にとっても学ぶところが多く、大変好評でした。そこで、本年度からはこれらの講座をさらに強化して全十五コマの「就職対策講座」として開講しました(表1)。

面接対策講座では、マナーの基本的な考え方を学び、電話のかけ方、部屋への入り方、正式なお辞儀などの具体的な指導を受けます。履歴書の書き方講座は、記入様式から明解な文章の書き方までのガイダンスとなります。さらに学生の意識向上のために、職場が

表1 平成21年度に開講された講座の概要

月日・曜日	時限	対象学科	内 容	講 師
4.18 土	1・2	看護科	面接対策講座・実習	田中准教授(福祉大)
5.15 金	4・5	臨床検査科	面接対策講座・実習	中村教授(福祉大)
5.26 火	5	介護福祉科	面接対策講座・実習	田中准教授(福祉大)
5.30 土	1・2	放射線技術科	面接対策講座・実習	中村教授(福祉大)
6. 2 火	5	介護福祉科	面接対策講座・実習	田中准教授(福祉大)
6.13 土	2	主に放射線技術科	履歴書の書き方	橋本准教授(本学)
6.20 土	1	主に看護科	履歴書の書き方	橋本准教授(本学)
6.27 土	2	全学科	職場が求める人材とは(病院職員視点から)	古城 剛氏(放射線技師・森クリニク)
6.29 月	5	全学科	好感をもたれる身だしなみ化粧法、ヘアスタイル実演	石田奈々氏(資生堂)
7. 7 火	5	医療保育科(初)	面接対策講座・実習	田中准教授(福祉大)
7.14 火	5	医療保育科(既)	面接対策講座・実習	田中准教授(福祉大)
7.21 火	5	全学科	職場が求める人材とは(福祉施設職員視点から)	武本和恵氏(養護老人ホーム人材育成企画室室長)

求める人材はどのようなものかということ、実際に現場で教育に当たっている技師さんや施設職員さんに語ってもらう場も設けました。また、好感の持たれる化粧法や髪の手入れ方を知ってもらおうと、化粧品会社の方の実践講座も用意しました。これは面接ばかりでなく、実習に行く場合にも参考になるといので、一年次、二年次の学生にも開放しました。

就職専門委員会では、これらの講座の受講をきっかけに、皆さんが就職活動に際して当然知っておくべき社会のマナーとルールを身につけ、自分自身を最大限にアピールできるようにすることを期待しています。今後これらの講座は、社会人としての実力を獲得するための「社会人基礎力養成講座」として拡大充実させていく予定です。

(就職専門委員会委員長 名木田 恵理子)

面接対策講座

川崎医療福祉大学 医療秘書学科
教授 中村 健壽

「面接対策講座」では、面接試験に臨むにあたっての心構えやマナーなどを中心に講義と実践練習を行いました。以下、その概略を順にご紹介します。

①面接試験は人物を見る試験ですから、受験生にとっては自分のより良いところを理解してもらおう機会であることとを認識して臨むことが大切です。

②そのためには、社会人としてのマナー（ビジネスマナー）が必要です。マナーはルールとは違い、社交上の心であり、相手に対して自分が取るべき態度・処理ですから、学生生活のマナーではなく、社会人としての身だしなみ、挨拶、立ち振る舞い、言葉遣いが、評価の対象になります。

③服装は、男女によって違いがありますが、面接時に社会人としてふさわしい身だしなみであることが大切です。たとえば、男性は無精ひげであるとかネクタイをきちんと結んでいない、女性には化粧が濃い、マニキュアが青色などということがないように、こまかな点まで注意を払います。

④姿勢と態度は、相手を意識したものであることです。正しく立つこととともに、正しい挨拶とお辞儀が必要です。お辞儀には、会釈・敬礼・最敬礼の三つの種類があります。

⑤面接試験の受け方については、入室から退室までのマナーがあります。ドアの開け方・閉め方、椅子の座り方・立ち方、目線や表情などに注意が必要です。

⑥言葉遣いは、「失礼ですが…」「…していただきたいのですが」というようないわゆるクッション言葉を学生が使用することは難しいのですが、感じ良く、ハキハキと正確に話すことが大切です。日頃何気なく遣っている、「超…」「マジ」「チャリ」などのような学生言葉は評価を下げます。

⑦面接試験の質問は、必ずといってよい



面接の実践練習

ほど聞かれる質問がありますから、先輩たちの受験報告などを参考にし、事前に対策を練っておきましょう。文章を丸覚えして、棒読みにならないようにしないと、熱意は伝わりません。

⑧電話は、友人との会話ではありません。電話の受け方・かけ方にもマナーがあり、内容にふさわしい言葉遣いが求められます。

以上のような内容を説明した後、数名の学生に前に出てきてもらい、「電話をかける・受ける」「医療機関を訪問する」「立つ」「お辞儀をする」「部屋に入る」「着席する」などをしてもらい、こまかく指導を行いました。さらに受講生全員が互いにロールプレイをしました。初めは戸惑いや、照れ臭さもあつたようですが、次第に緊張感もみなぎり、また笑顔で実践していた様子が印象的でした。面接試験において第一印象はとて大きな評価ポイントですから、試験のためだけでなく、日頃から自らの印象を管理することが大切です。

履歴書の書き方講座

川崎医療短期大学 一般教養
准教授 橋本 美香

今回の履歴書指導は、授業の中で指導を受けている二学科を除く看護科・放射線技術科・臨床工学科の学生を対象に、六月十三日（土）、六月二十日（土）の二回にわたって行いました。

本学では、専用の履歴書と送付用の封筒が用意されており、今回の履歴書指導でも、本学の履歴書を使用しました。この履歴書の特徴は、「得意な科目・得意分野・卒業研究等」「実習経験」「学業以外で力を注いだ事柄・学生生活を通じて得たこと」について書く欄が設けられていることです。そのため、具体的にかなりの字数を書かなければなりません。その方策について、具体的な事例を挙げながら説明しました。

自分の短所は思いつくけれども、長所は思いつかないという学生が多く見受けられます。「しつこい」という短所は「持久力がある」、「あきっぽい」という短所は「柔軟に対応できる」という長所としてとらえることができるなどの解説は、履歴書を前に戸惑っている学生を勇気づけることができました。

本学の履歴書は、非常に書くスペースが多く、苦勞すると思います。しかし、履歴書を作成することによって、志望動機・学業・自分自身などについて考えることができるため、面接の際に自信につながるのではないかと思います。



履歴書の書き方

職場が求める人材とは

森クリニック 技師長
古城 剛（放射線技術科二期生）



六月二十七日（土）
「私が歩んでいる病院勤務の行動科学的分析からの考察」という演題名で講演させていただきました。今回の講義では、私

が今まで勤務した経験を基にして行動科学による自己評価を行うことで、病院勤務における仕事に対するモチベーションの変化は何故起きるのか、そしてどのようにすればそのモチベーションを高いレベルで維持できるのかを述べてみました。また、病院経営の現状もふまえて「職場が求める人材とは」についても考察を行いました。以下に講演内容の要約を示します。

「エリオットの偏見の授業」を例に挙げ行動科学について説明を行いました。行動科学とは、「心理学、社会学、人類学、経済学、政治学など、特に人間や集団の行動あるいはまた、人間や集団がそうした行動の結果つくりだす制度、価値、文

化といった複雑な人間現象を探求する社会科学の諸分野からなる総合科学である」と示されています。

行動科学の基本的な理論は「人間の行動の理論(B-D-H-C-S)B:行動、f:関数、P:人の内側の何ものか、S:人の外側の何ものか」、「欲求の段階(生理的欲求↓安全・安定を求める欲求↓社会的欲求↓自我・自尊の欲求↓自己実現の欲求)」、「意欲要因(環境要因論)」です。「人間の行動の理論」において最も重要なことは、「人間は置かれた状況に影響され、状況は人間に影響される」、「動機は、行動の理由・根拠である。動機は、行為を呼び起こし、持続させ、基本的方向を決めてしまう」ことだと思えます。

これらの行動科学の基本的な理論を用いて、私が歩んでいる病院勤務について自己評価を行ってみました。その結果、「就職して、一通りの仕事ができるようになるまでの期間」、「チャレンジングな仕事を任された時」に仕事に対するモチベーションの向上が認められました。一方で仕事を修得できたと判断した後、また興味のない仕事を長期に行わされるとモチベーションの低下を感じました。前述した理論どおりであり、適切な動機(目標)を設定された時にモチベーションの向上を感じました。

現在の医療機関の経営モデルは、人、物、情報の三者をうまく連携させて、医療の質を向上させなければならぬと言われています。特に、病院職員のマネジメント(人をどのように管理するか、教育をどのように行うか)が、病院経営におけ

る最も重要なポイントと言われています。この状況下で「職場が求める人材」の理想論は、「医療の質と患者さんの満足に焦点を当て、医療環境の変化に迅速に対応して変化し、的確な処置対策を導き出して行動に移し、しかも地球規模の視野・視点を持つとともに、他組織とも戦略的ネットワークを形成して提供・協力し、マネジメントの変化に対応されるばかりか、断続的に学習する能力をも備えている人材」と思われます。



講演の様子

職場が求める人材とは

シルバーセンター後援 育成企画室 室長 武本 和憲



今、様々な職場で「社会人基礎力」が求められています。社会人基礎力とは、読んで字のごとく社会人が基礎的に備えておくべき能力のことです。経済産業省によって「職場や地域社会の中で多様な人々と共に仕事を行っていくうえで必要な基礎的能力」と定義

されました。その基礎的能力は以下の三つの能力になります。それは、①前に踏み出す力(アクション)②考え抜く力(シンキング)③チームで働く力(チームワーク)であり、この三つの能力の総称が「社会人基礎力」です。また、これらの三つの能力には、主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、計画力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力の十二の要素があります。

この社会人基礎力は、新卒者の採用場面でも多くの企業や施設が目指し、それぞれの企業、業種によって求める人材像と照らし合わせながら基礎力に視点を置いて採用していると思われれます。社会人基礎力は、車に例えると「人間性、基本的な生活習慣」という人間のベースになる「車体」に乗って、学校等で学ぶ「基礎学力」や仕事に必要な知識や資格等の「専門知識」というタイヤを、効果的かつ効率的に働かせ人間力を向上させる「エンジン」のようなものです。医療福祉系の学生は、病院・施設実習等で他の学生よりも多くの社会経験を早期に体験することにより、この基礎力が学生時代にある程度取得できていると思われるます。社会人基礎力向上のために学生本人の自己覚知による努力は勿論ですが、企業・病院・施設と学校が連携しながら育成していくことが重要になると思われます。

また、企業も採用した人材を財産と考え育成しています。特に福祉サービスは、人を相手として、人の手によって行われる対人サービスの特徴とするものです。したがって、その担い手である一人ひとりの職

員の資質能力の向上は、そのままサービスの質に結びつきます。職員個人の成長は組織の成長であり職員の育成がサービスの質を決定してきます。

社会変化に対応し選ばれるサービス事業者となり、魅力ある職場を目指すために、その核となる研修体系を整備し、職員の専門性及び資質の向上に力点を置き、階層・職種別の研修を実施している施設が増加しています。研修によるキャリアアップと同時に、その能力に見合う給与体系を構築するなど処遇の改善も必要となってきます。このように、処遇を改善することで個人の目標や人生設計を立てることができ、ライフワークバランスが考えられることにより働き続けたい職場になることが、施設として重要なポイントとなっています。

学生の皆さんは、今できること、今学べることを大切にして、目標を持ち、学校での学びの中から「読む力(理解)」「書く力」「話す力」等を身につけるように努めてください。そして、社会人になってから魅力あるサービスを提供し、楽しみながら福祉の仕事のやりがいを感じられるようになってほしいと思います。



講演の様子

好感をもたれる身だしなみ

化粧法とヘアスタイルの実演

資生堂販売株式会社 中四国支店 美容総括部

石田 奈々



六月二十九日（月）に、「就職養成講座」の一環として「好感をもたれる身だしなみ」と題した講演が実施されました。「見

だしなみ」は、その人の「言動」や「身なり」のことでありますが、今回は、資生堂販売株式会社の石田奈々氏をお迎えし、周囲の方々に好印象を与える「化粧」と「ヘアスタイル」に的を絞り、実演を交えた講演を行っていただきました。

はじめに、今回の講座の責任者である名木田恵理子先生から、「遊びとしての化粧と社会に出てからの化粧は別であり、人に好感を与える化粧の方法を身に付ける必要があります。また、ヘアスタイルも、顔が隠れないようスッキリ見せることが大事です。今回の講座で学ぶことを、実習先や就職活動などで実践して欲しい」と開催の主旨が述べられました。

次に、メイクアップモデルとして選ばれた医療保育科三年生の末廣彩さんが登場し、いよいよ実演を交えた講座が始まりました。冒頭の説明の中で石田氏は、「今回のテーマは、実習に見合った化粧と、見る人を元気にさせる化粧です。アイライナーで目のまわりを真っ黒にした人だと信頼感を失いかねません。また、化粧を行ううえで最も重要なのは、TPOに合わせた化粧です」と強調されました。



BEFORE



AFTER

実演の内容は、メイクアップのテクニクだけでなく、紫外線対策の方法、化粧品の効果と正しい使い方、美肌を保つアンチエイジングケアまで、細かな指導が行われました。実演に使用した化粧水などは、学生が実際に手に取り、その使い心地や香りを体験しました。

学生は、メイクアップが進むにつれて変貌するモデルの顔に驚き、「すごい」とたびたび声を上げていました。そして、メイクアップが完成すると、学生たちから「かわいい」と、一斉に歓声と拍手が沸き起こりました。

続いて、ヘアスタイルのモデルとして、看護科一年生の松島舞香さんが登場しました。松島さんのヘアスタイルを見た石田氏は、「礼をしたときに髪の毛が落ちてこないようにすることが重要です。落ちてくる髪を丁寧に拭きます。また、振り向いたとき、周囲の方に迷惑にならないよう束ねた髪をアップにします」と、今回実演するヘアスタイルの意義について説明しました。

実演では、ムース・ヘアワックスを使った髪の毛のまとめ方、ハードスプレーによる後れ毛の対処法、Uピンやアメリカピン

を使った髪の毛のねじ込みなどが行われました。ヘアスタイルが整い、石田氏から「完成です」と伝えられると、きつちりまとまったヘアスタイルに、会場から拍手が沸き起こりました。

この他に、男子学生のためにもなる発毛促進剤を用いた頭頂付近の脱毛予防法（男性よりも女性の方が薄毛になりやすいとの説明でした）についても指導があり、発毛促進剤（頭頂部へ促進剤をつけて手で押さえるとパチパチと音が鳴っていました）を体験しました。

閉会にあたり名木田先生から、「末廣さんのような元気を与える化粧と、松島さんのような髪型を実践し、さまざまな場で活用してほしい」と挨拶があり、講演者への拍手とともに閉会しました。

（まとめ 天野 貴司）



BEFORE



AFTER

今回の講座を受講した感想を「紹介します」

【看護科一年生 松島 舞香さん】

（ヘアモデル担当）

ヘアアレンジの講習会では、髪型だけに注意するのではなく、髪の毛をケアし髪の手触りにも配慮する必要性を学びました。また、顔周りの髪が乱れないようきちんと整えた髪の毛のまとめ方は、表情が明るく見

え、すっきりとした印象のよいものでした。患者様から好感・信頼感が持たれる清潔感のある髪型で、今後は実習に取り組みたいと思います。

【臨床検査科三年生 細川 智巳さん】

今回の講座を聞くま

で、就職活動などは、ほぼノーマイクで行わなければならぬのだと思っていました。しかし、実際にヘアメイクの実演を見ることができ、自分が思っているメイクとは違い、ちゃんとメイクをしているのに優しそうな印象を与えるように仕上がっていました。ぜひこれからの就職活動の際に参考にしたいと思いました。

【放射線技術科三年生 大崎 茉依さん】

病院内での華美な化

粧が非常識なのは認識していましたが、逆に何もしなければ顔色が悪く、不健康そうな印象を患者様に与える場合があることを知りました。私は今、病院で実習をしているので、今回教わったTPOに合わせたメイクアップを実践し、患者様に清潔感と元気を与えたいと思っています。

【医療保育科三年生 末廣 彩さん】

（メイクモデル担当）

みんなの歓声や拍手を聞いて、「化粧ひとつで印象がガラッと変わる」ことを実感しました。ピンクは普段使わないけど、実際に使ってみたらホワーンと柔らかい表情になり、気持ちも柔らかくなりました。TPOに合わせた身だしなみを心がけていこうと思いました。社会人としての化粧方法を学び、就職への思いが高まりました。就活、頑張ります！



大学に入学し、二ヶ月近く経過した五月末に、「ふるさとレター」と称して、お世話になった高校の先生などに近況報告の葉書を送っています。今年度は、「日本語」の授業の中で取り組みました。この取り組みは、実習先などに挨拶状やお礼状を書く際に抵抗感を持たないようにすることにつながると考えます。さらに、社会人として必要な手紙の基本的なマナーと常識の一端を身につけることを目指しています。

「夏休みに、先生のお顔を見に行きます」「部活の様子はどうですか」など、母校や先生に対する心が伝わる文章が多く見られました。また、絵はがきに自分

と本学の友達で撮った写真のシールを貼っている人もいました。先生から返信や連絡があった学生も相当数おり、久しぶりに交わす言葉は、本学での学生生活に力を与えてくれたのではないかと思っています。

日本語検定

皆さんも受けてみませんか？



日本語検定の認定証



日本語検定に取り組んでいる様子

平成二十一年六月二十日(土)、本学を準会場として日本語検定が実施されました。当日は、日本語検定事務局からも、受験監督にお越しいただき、滞りなく検定試験が行われました。

日本語検定とは、日本語の運用に必要な六つの領域を測る検定です。六つの領域は、以下の通りです。

- ① 敬語(尊敬語・謙譲語・丁寧語の適切な使用)
- ② 文法(語と語の正しい連接)
- ③ 語彙(語彙の豊富さ・語と語の関係の理解)
- ④ 言葉の意味(言葉の意味の理解)
- ⑤ 漢字(漢字や熟語の読み方・意味の理解)
- ⑥ 表記(適切な漢字の使用、正しい送り仮名)

今回、初めて本学で実施した検定であるにも関わらず、四十一名の学生が検定に挑みました。受験級の内訳は、二級受験者五名、三級受験者三十二名、四級四名でした。

次回は、十一月六日(金) 十八時〜本学体育館で実施する予定です。日本語を正しく運用できるようにするため、また、就職に少しでも有利になるように、受験を考えてみてはいかがでしょうか。

平成二十一年度 第一回公開講座

テーマ 老いをどう支えるか

介護福祉科 教授 藤原 芳朗
教授 内田 富美江

六月十四日(日)、川崎医療短期大学第一回公開講座が開催されました。「老いをどう支えるか」の演題で、介護福祉科・藤原芳朗教授(写真①)と内田富美江教授(写真②)による講演が行われました。



写真②



写真①

今日のが国の高齢者介護においてはさまざまな問題が噴出し、まさに高齢者介護の現場に黄信号がともっています。そのため、誰が高齢者をどのように支えるかについての方策が語られました。また、当日は公開講座の会場に「介護相談」と「介護用品の展示(写真③)」のコーナーを設け、本学介護福祉科の教員による介護相談と、医療福祉用品関連の企業数社のご協力により、家庭で役立つ最新の介護用品の展示も併せて行われました。

公開講座には百十四名の方が参加され、盛会のうちには終了しました。最後に、開催にあたり、関係各位のご協力を心より感謝いたします。



写真③

介護福祉科

県下初、分散型実習での介護実習

介護福祉科 講師
三宅 美智子

平成二十一年度入学生から介護福祉士養成課程カリキュラムが、介護福祉士の資質の向上を主な目的に、新しく生まれ変わりました。この改訂では、各養成校で教育内容の自由裁量が認められ、各校の独自性を出すことができるとなりました。これにより、本学では、県下でも初の分散型実習を介護実習のカリキュラムへ取り入れましたので、今回はこの分散型実習についてご紹介いたします。

これまでのカリキュラムでは、利用者の様子を知るための実習前施設見学は一日しか行えませんでした。しかし、分散型実習を取り入れ「介護実習Ⅰ」として位置づけることが可能となり、高齢者のみならず障害者も視野に入れた、介護サービスを受けるさまざまな利用者を知り、理解することができ

ようになりました。

二年間の在学期間での介護実習は、一年次に「介護実習Ⅰ（分散型）」「介護実習Ⅱ（集中型）」の二回の実習、二年次には「介護実習Ⅲ（分散型）」「介護実習Ⅳ（集中型）」の二回の実習形態となります。

一年生での分散型実習である「介護実習Ⅰ」では、一施設又は事業所に決まった曜日に二日間、計五週間・十日間の実習を行います。これまでと違う点は、五週間同じ施設で実習をするのではなく、一週間二日ずつ異なる種別・区分の施設の実習を行うことです。また、高齢者入所施設での実習が主でしたが、介護サービスの対象となる利用者は高齢者だけでなく障害者も含まれることや生活の拠点としている場所（施設か在宅か）の違いによって利用するサービスの種類が異なるということ、そしてさまざまな利用者とのコミュニケーションをとることで自己理解・他者理解を深めることを目的としていたため、五か所での実習を行うことになりました。ここでいう五か所とは、①高齢者入所施設、②高齢者通所



障害者施設での介護実習Ⅰ（分散型）

上：施設内の陶芸教室で指導者と共に利用者の方とリハビリを兼ねた陶芸を行います。
下：週に一度の少林寺拳法を体験、利用者の方と手探りながらコミュニケーションを取ります。



施設、②高齢者通所施設、③知的障害者施設を指しています。



介護実習Ⅰ（分散型）前後の学内の学習
施設別や施設種類別の小人数に分かれ、担当教員のもとでその施設の概要を実習前に学びます。実習後は反省会を行い学びを深めます。（介護総合演習Ⅰ）

護・通所リハビリテーション、③グループホーム・ケアハウス、④身体障害者施設、⑤知的障害者施設を指しています。

今年度は、五月二十六日（火）から六月二十四日（水）の間、毎週火曜日と水曜日に、実施されました。まだ入学して間もない一年生が、戸惑いながらも一生懸命利用者に関わりました。認知症や知的障害のある利用者などのコミュニケーションが難しい場面でも、授業で学んだコミュニケーション技法を生かし関わろうと努力しており、学校の学びと実習が結び付いた意義深いものとなりました。

二年生で実施されるもう一つの分散型実習である「介護実習Ⅲ」では、居宅介護実習を行います。この実習は、一人の利用者を担当し、一週間に一度決まった曜日に十週間（合計十日間）、訪問介護サービスを継続的にを行い、利用者本人や家族の生活支援活動を体験しようというものです。

この実習の成果も期待しています。

事務部から

チェンジ



事務部次長・教務課長
服部 明彦

ずいぶん前のことですが、箱根駅伝で常連のスポンサーで有名な学校の先生が講師をされていた講演会で、会場の参加者に向けてこんな質問をされました。「皆さんの中には、知らない方もいらっしゃると思いますが、V9時代の巨人にMと言う、名ヘッドコーチがいました。このコーチは、選手がエラーをすると罰金を支払わせていましたが、この場合は、誰から罰金を取ると思いますか」。これは実際にあった話です。

状況はこうです。「巨人の守備で、ノーアウトランナー一塁、ピッチャー投げた球を相手チームのバッターは、痛烈なサードゴロを打ちました。サードNファインプレーでキャッチすぐさま矢のような送球をセカンドへ、ところがセカンドDのベースカバーが一瞬遅れ、ボールを後ろにせらし、ツーアウトランナー無しとなるところがノーアウトランナー一塁三塁二塁となっていました。もちろん公式記録のエラーはセカンドを守っていたDとなっていたのですが、罰金は、サードを守っていたNから取ったそうです。

なぜかと言うと、「痛烈な当たりなのだから、セカンドへ送球する時充分余裕があったはず。どうしてセカンドのDがベースに入っているかどうか確認しなかったのか」と言うことが理由だそうでした。「自分のプレーに酔うのも良いが、その時どうして仲間を思いやることができなかつたのか、野球はチームプレーで数人の優秀な選手だけでは勝てない、それぞれが自分の持ち場で力を発揮することが、そのためにお互いがお互いを思いやり尊重することが、一番重要なことである」ということが当時のMコーチの方針だったそうです。

その講演を聞いた後、自分自身の現在を振り返ってみて、考えさせられました。自分さえ良ければ他人は、どうなつても良いのか？

あれから数十年、仕事をするうえのみならず、人生の様々な場で、チームプレーの重要性、他を尊重し思いやることの大切さを身にしみて感じています。あの講演会は、傲慢だった自分に神が自分をチェンジするために与えてくれた最後のチャンスだったのでないかと思っています。

軽音楽部 (FUCKIN'CREW)

軽音楽部 (FUCKIN'CREW) は主に学祭、福祉大や医大との合同ライブを目標に活動しています。他にも七夕ライブ、クリスマスライブと行事盛り沢山です。部員は約30人ほどですが、GO!GO!7188、藍坊主、ELLEGARDEN、マキシマムザホルモン、木村カエラ、チャットモンチー、locofrank、ORANGE RANGEなどなど、いろんなジャンルのバンドをコピーして楽しくやっています!!

軽音楽部は、「部として練習する時間がない?!」「ほぼ初心者!!」という悪条件の中、みんなバリ

バリ自主練習して上手くなっていく傾向にあります(笑)。まったく楽器が弾けないというゼロの状態から、練習して初めてみんなと合わせをして曲になった時は感動ものです!! そして何より先輩、後輩、学科に関係なく、部員みんなと一つも仲が良いんです。

授業で落ち込むことがあっても、部室に行くと元気になるれます。



Hearts Therapy

「あなたにとって癒しとは何ですか?」美味しい物を食べることや、友達と遊びに行くことなど人によって様々だと思います。でもそれは日常の中での癒しであって、Hearts Therapy部の中での癒しは、そのような日常の癒しとは少し違ったものになっています。

活動は月に一度で、カウンセリングの一部を行っています。先日、短大で研修会を開き、多くの部員が心に残ったと感じた言葉があります。それは、「青い空はあるのか?青い空があるのではなく、青い空があると感じる人がいる」というものです。それをそのように感じる人がいるということをお忘れてはいけません。

カウンセリングは、自分には必要のないものと感じる人が多くいると思います。しかし、カウンセリングは少しだけでも知識があれば家族や

友達との接し方、今まで悩んでいた人間関係まで変わるものになる可能性があります。それが自分にとって癒しにも繋がるのではないかと思います。



サークル紹介 ①

Berry Kids

ベリーキッズは「保育」のボランティアグループです。第二、第四金曜日に岡山大学附属病院、月二回倉敷成人病センターのプレイルームで、主に0歳から18歳までの子どもたちの保育をサポートしています。

プレイルームでは、子どもたちと一緒に折り紙などの製作活動をしています。病院内での保育は、遊びに制限があったり、年齢層に適した遊びが必要になったりするので準備が大変です。そこで、今年から毎週水曜日に集まり、グループごとに様々な遊びを考え、年齢に合った様々な遊びが提供できるようにしています。

また、川崎医科大学附属病院や青木内科小児科では、七夕やクリスマスなどのイベントにも参加しています。イベントでは、病院を訪れた子どもたちに短冊を書いてもらったり、クリスマスツリーの装飾やケーキと一緒に作ったりしています。この他にも岡山大学病院では、生まれてからずっとNICU(新生児集中治療室)で過ごしている子どもと、その保護者が集まるイベントで、パネルシアターや紙コップシアターなどを行っています。

ボランティア先の病院では急性期の子どもが多く、継続して接することができないのがほとんどです。しかし、親

御さんから私達がくるのを楽しみにしているというお話をお聞きし、とてもやりがいを感じています。これからも、病気で闘っている子どもたちが少しでも楽しく過ごし、親子で楽しめる時間を提供していきたいと思っています。



合気道部

私たちは現在、二年生5名、一年生7名の愉快的仲間楽しく活動しています。「合気道ってどんなことするの?」よくぞ聞いてくれました!!(笑)

体術・武器を用いた技やその受け身、その他礼儀作法などなど学校の授業では学べないことを盛りだくさんに行っています。

「技をかけることも大切ですが、それ以上に受け身を取れることに重点を置いています。これから社会に出る上で「受け身上手になる」ことは強い武器になります。」(by卒業生)今年入部した一年生も受け身が上手になってきました。上達の早さにびっくりしている今日この頃(笑)。

護身術も練習しています。女の子にはぜひ身につけて欲しい!! 学園祭で演武会を開くので、興味のある方は見に来てくださいね(^^)。



第3回 オペレッタ発表会

七月二十五日、医療保育科三年生によるオペレッタ発表会が本学にて開催されました。オペレッタとは、音楽に合わせた物語が展開する「音楽劇」です。保育士や幼稚園教諭を目指す学生にとってオペレッタを経験することは重要な意味があります。それは、演者の気持ちを表現したり、チームで作品を創り上げたりすることが、先生としてお遊戯や演劇発表会を指導する際に子どもの立場を理解した指導に生かされるからです。

発表は五グループあり、「美女と野獣」「月輝姫」「雪の女王」「ももたろう」「アラジン」でした。本学では三回目の開催であり、教員の熱心な指導の下、学生は録画した先輩のオペレッタを繰り返し見て練習しました。そのため、年々、演技も演出も向上しており、教員は積み重ねることの大切さを実感しています。オペレッタで培った表現力や忍耐力を胸に、就職活動を乗り切ることを願っています。



▲雪の女王



◀アラジン



◀月輝姫



▲ももたろう



◀美女と野獣

キラリいい顔 7



第三十五回学園祭実行委員長
臨床検査科 三年生
石川 香織さん

今年の学園祭のテーマは「ひだまり」です。「ひだまり」とは、日光がよく射して暖かい場所のことを指す言葉です。

現代社会では、とかく、個々の主張を押し通すことばかりを考え、周りと協力するということをお忘れがちになっている傾向があるような気がします。そこで今年度の第三十五回学園祭では、「ひだまり」のように心温まる雰囲気を作り、学園祭の行事や活動を通して、皆さんの未来が少しでも明るいものになるようにという思いが込められています。

さて、私達学友会は、現在二年生十名、一年生二十名の計三十名から成り立っています。去年の学園祭が終わった直後に委員長が決定し、今年度の学園祭準備はすでに一月からスタートしています。副委員長の荒武幸さん（放射線技術科）を始め、学友会の皆さんの励ましや前委員長の森下愛子先輩（放射線技術科）ら、数多くの皆さんの協力があったからこそ、今まで学園祭の準備を着実に進めることができたと思います。この場を借りて感謝の意を表します。ありがとうございました。学園祭を成功させるために、私たちは昼休みの活動や、放課後の話し合いを重ね、その

ひとりひとりが輝ける 学園祭を目指して

たびに団結力が強くなってきたと感じています。一月は四校合同会議、三月は学園祭までの予定についての話し合い、四月は短大での学園祭スタッフの招集、五月は学園祭スタッフ全員を集めての会議開催、そして、六月には学園祭で使う備品の確認を行い、着実に準備を進めてきました。このように、私たちは一つの大きなイベントを成功させるために一月から少しずつ活動を始め、三日間の学園祭にその成果をすべて発揮するために、今現在もコツコツと準備を重ねています。

先輩方が引退した今年度初めの学友会は、新二年生がたった十人という不利な状況での取り組みでした。困難を乗り越えて絆は強くなると思いますが、私達の困難はこの最初の状況でした。今思えば、困難が最初に訪れてくれたおかげで一つになった気もします。今年は、実行委員のメンバーは女性が多いため、力仕事は劣ります。しかし、女性らしい気配りを活かし、一致団結して、これまで以上の学園祭の成功を目指して頑張っていこうと思っています。

学生や教職員の皆さん、そして学友会や学園祭スタッフの皆さん、是非とも私たちが学園祭を盛り上げましょう。ひとりひとりが輝ける時：今、まさに、その時です。



教員の活動紹介⑩

見えているけど、見えないもの

臨床検査科 講師 山本誠一



平成二十一年七月二日(木)～四日(土)に第二十六回日本心電学会が京都の国立京都国際会館で開催され、私のライフワークである『心電図陰性U波に関する研究』で今回も発表してきました。第一回から連続で発表していますので、本テーマについて三十年近く研究していることになりました。我ながら、よく続いているなど感心しますが、ほちほち研究のまともに入りたいと考えています。心電図は一九〇三年にアイントーベンによって初めて記録されて以来、現在も心臓病検査として最も重要で、よく行われている検査です。百年以上も行われている検査ですので、心電図のすべてが解明されているのであろうと思われるかもしれませんが、まだまだ未解決のことも多く、世界中で何万人もの専門家が日々研究を続けているのが現状です。

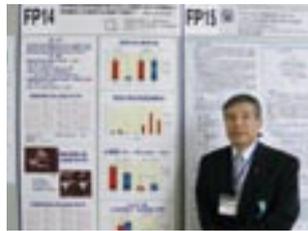
心電図の研究とは、どんなことをしているのでしょうか？新しい測定装置を開発し、新しい検査法を開発することもあります。一方、現在行われている心電図で「見えているけど、見えないもの」を見えるよ



第26回日本心電学会の会場

うにするのも大切な研究の一つだと思っています。「見えていないけど、見えない？」。このような現象はなぜ生じるのでしょうか？それは、①無関心、②知識が無い、③熱意と想像力が無いなどの場合です。「見えているものを、正しく、隠れているものまで見る」ようにするためには、①心電図に関心を持ち(好きになり)、詳細に観察する。その時、理解できない波形に遭遇したらチャンスです。その波形をコピーして保存しておく。②心電図についてはもちろんのこと、他の検査についてもできるだけ幅広く、深い知識と経験を得る。③「この心電図では、どんな心臓で、全身状態はどうなっているのだろうか？」と、常に想像し、種々のことを考えながら判読する。以上のことが大切です。研究は、これらを積み重ねていくうちに、テーマが閃いてきます。

今年から、新たに突然死の予知指標にもなると思われる「心電図T波」に関する研究を始めたいと考えています。残り時間が少ないようですが……。



発表している場面

「子どもの力」

先輩から後輩へ⑩

社会福祉法人あゆみ会あゆみ保育園 小野歩美(医療保育科 一期生)



私は、平成二十年三月に医療保育科を卒業し、岡山市内にある社会福祉法人あゆみ会・あゆみ保育園に就職しました。現在、保育士二年目で、0歳児の担任をしています。クラスには、生後三か月～十一か月までの子どもたちが在籍し、毎日元気よく過ごしています。

仕事の内容は、ミルクをあげたり、おしめを替えたり、散歩に連れていったりと、子どもたちが気持ちの良い生活を送ることができるよう、基本的な生活の「お手伝い」をしています。まだ歩けないので、ゆったりとしたイメージのある0歳児クラスですが、仕事の内容も多く、一日があっという間に過ぎてしまいます。

保育士の仕事は、楽しいことばかりではなく、大変なこともたくさんあります。新学期当初は、人見知りをする子どももいますが、私がクラスに入った途端、泣きだすこともしばしば。抱っこをすることもできない日々が続く、悩むこともありました。でも、人見知りもひとつの「成長」だと気づき、その子のペースに合わせて関わるようにし、今ではしっかりと信頼関係を築くこと



お散歩のときはしっかり握ってね

ができています。また、0歳児は「発達の幅」が広く、できることも生活リズムも、みんなバラバラです。例えば私のクラスでは、ベッドの上で寝たままの子どもから、ハイハイやかままり立ちをする子どもまで、同じクラスで生活しています。そのため、一人ひとりに合った、生活や遊びを考えていかなければいけません。それには、発達の過程や個別の発達状況の把握が大切になってきます。まだまだ分からないことばかりで、日々の勉強が大切だと実感しています。

保育士という職業は、とても責任が大きいです。しかし、子どもの成長・発達を最も身近で感じられるこの仕事は、本当にやりがいがあります。「寝返りができた!」「歩けるようになった!」など、毎日が発見と喜びで溢れています。子どもたちの笑顔は、毎日の私のパワーです。

みなさんも子どもたちに負けない笑顔で、素敵な保育士を目指してください。



ケガをさせないように



さっきまでにぎやかだったのに…

第4回

オープンキャンパス

平成21年7月26日

開催



入試問題解説講座

医療保育科



在学による模擬保育を披露

介護福祉科



在学による手語歌練習

臨床検査科



パソコンを使用した体験実習(形態検査学)

放射線技術科



病院見学(CT操作室)

看護科



在学と参加者との懇談

七月二十六日(日)、平成二十一年度第四回オープンキャンパスが開催されました。メインテーマは「夏休みの一日があなたの未来を変える!!」で、時折雨がぱらつく天候にもかかわらず、大勢の人で大講義室は埋め尽くされました。全体会では、平成二十二年度の入試概要説明、面接の受け方、平成二十一年度入試問題解説講座を、各学科ではミニ講義や体験実習を実施し、どの会場も盛況でした。体験実習や参加者との懇談では、在学も大活躍で、参加者に学校の様子を熱心に伝える姿が印象的でした。

禁煙推進のお知らせ



本学では禁煙推進活動の一環として、奇数日の午前中(正午まで)を禁煙とし、喫煙場所を閉鎖しています。

第35回 川崎学園祭

10月10日(土)・11日(日)の2日間、「ひだまり」という統一テーマのもと、第35回川崎学園祭が大々的に開催されます。また、学園祭と並行して10日(土)には第3回公開講座が、10日(土)・11日(日)の両日には第6回オープンキャンパスも開催されます。皆さん奮って参加してください。

※「ひだまり」とは、日光のよく射して暖かい場所のことを指す言葉です。そのような場所は、心地よい気分になり、安らぎを感じ元気が湧いてくるような所だと思います。今年度の学園祭が、心が温まる空気をつくりだすことで、安らぎを提供し、皆様の明るい未来に少しでも役に立つことができたいという思いを込めました。



新任職員紹介



教務課係長 植田京子

出勤時、坂道を歩きながら、「この坂道を意識(息切れ)することなく登れるのはいつかしら?この坂道は、何人のひとを受け入れ、見送ったの?」と語りかけ、「さあ、私も頑張ろう!」と決意を新たに一歩一歩踏みしめています。



事務部参与 山田篤

福祉大からの異動ですが、短大の事務部は庶務課と教務課の二課で福祉大の五課分を賄っております。その分、皆さんが協力し合い、とてもよい雰囲気の中で仕事をさせていただいております。早く一人前になり、少しでも短大のお役に立てればと思っております。

地球温暖化対策
ワーキング
グループだより



川崎エコプロジェクト

クール・ビズで
暑い夏を
乗り切ろう!

クール・ビズの語源を知っていますか? 「クール」は「cool」、「ビズ」は「business」、この二語を合わせた造語です。「クール」には「涼しく」や「格好よく」といった意味があります。学生の皆さんにとって「ビズ」は少し早いですね。冷房温度は28度に設定し軽装を心がけ、厳しい残暑も「クール」に過ごしましょう。

主要行事 (10月~12月)

10月	1日	授業開始 AO入試合格発表
	9日	全学科午後休講
	10日	学園祭(～11日) 第3回公開講座 第6回オープンキャンパス(～11日)
	17日	特別入試
	23日	特別入試合格発表
	27日	放射線技術科3年第2回実力試験
	29日	看護科戴帽・授章式

11月	7日	推薦入試
	9日	介護福祉科2年Ⅲ段階実習(～12月5日)
	13日	推薦入試合格発表
	16日	看護科2年基礎看護学実習Ⅱ(～12月11日) 介護福祉科1年介護実習Ⅱ(～12月5日)
	25日	医療保育科3年病児保育コース実習成果発表会
	28日	放射線技術科卒業研究発表会

12月	1日	医療保育科2年保育実習Ⅱ・Ⅲ(～11日)
	16日	放射線技術科3年第1回卒業試験
	19日	臨床検査科研究発表会 医療保育科3年発達障害児コース学外研修(～20日)
	24日	冬季休業

川崎医療短期大学広報誌「若きいのち」(66号)

2009年9月発行

編集発行：広報誌編集委員会

- 藤原忠昭(庶務課・委員長)
- 天野貴司(放射線技術科・副委員長)
- 名木田恵理子(一般教養)
- 橋本美香(一般教養)
- 重田崇之(一般教養)
- 阿部裕美(看護科)
- 近末久美子(臨床検査科)
- 河邊聡子(介護福祉科)
- 中井 靖(医療保育科)
- 重政有里(庶務課・書記)

写真協力：二葉写真館

印刷：友野印刷株式会社

皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。

〒701-0194

倉敷市松島316 川崎医療短期大学

広報誌編集委員会

電話：086-464-1032(庶務課)

Eメール：kouhou@jc.kawasaki-m.ac.jp

ホームページ

http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/

平成22年度 入試日程

学科	AO入試	特別入試(社会人枠を含む)		推薦入試・公募	一般入試前期	一般入試後期		面接(A・Bとも実施)・調査書
						A(センター試験利用)	B	
看護科	調査書 1次面接 2次面接 課題				必須「国語総合・現代文」 選択「英語Ⅰ・Ⅱ」「数学Ⅰ・A」「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ・A」から1科目	必須「国語」 選択「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」から1科目 ※理科を2科目受験している場合は点数の高い科目を利用する。	小論文	面接(A・Bとも実施)・調査書
臨床検査科	—	小論文	自己推薦書	面接・調査書	看護科に同じ	必須「国語」	—	
放射線技術科	—	小論文	自己推薦書	面接・調査書	必須「数学Ⅰ・A」 選択「英語Ⅰ・Ⅱ」「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」から1科目	必須「数学Ⅰ・A」 必須「国語」	小論文	
介護福祉科	調査書 1次面接 2次面接 課題				選択「国語総合・現代文」「数学Ⅰ・A」「英語Ⅰ・Ⅱ」「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」から2科目	必須「国語」	小論文	
医療保育科	—				看護科に同じ	必須「国語」	—	
試験日	9/26(土)	10/17(土)	11/7(土)	1/29(金)	3/12(金)			
出願期間 (消印有効)	9/1(火)～15(火)	9/28(月)～10/10(土)	10/19(月)～10/31(土)	1/4(月)～22(金)	2/23(月)～3/6(土)			
合格発表	10/1(木)午後5時	10/23(金)午前9時	11/13(金)午前9時	2/5(金)午前9時	3/16(火)午後5時			

平成21年度 第3回公開講座

講座名

『性と健康～自分で選ぶ自分らしさ～』

講師

- 登喜 玲子(本学看護科教授)「あなたにとっての性とは…」
- 松本 明美(本学看護科教授)「性感染症 -最近の動向-」
- 日下 知子(本学看護科講師)「気づいていますか?デートDV」

内容

人間の性は、胎児期から一生発達し続けるものです。そして、性は、健康な身体や心を維持するためにも、想像以上に重要なはたらきをしています。皆さんお一人おひとりにとって、大事な「性と健康」について考えてみましょう。

日時

10月10日(土)10:00～11:30

会場

川崎医療短期大学 体育館 102号教室
入場無料(一般の方の参加をお待ちしています)



◆申込み・お問い合わせ先◆

〒701-0194

岡山県倉敷市松島316

川崎医療短期大学 公開講座係

TEL: 086-464-1032

FAX: 086-463-4339

koukai@jc.kawasaki-m.ac.jp

編集後記

今年度から広報誌編集委員会のメンバーとなり、共に活動させていただいています。今期編集の初仕事として表紙の写真撮影を担当し、緊張とプレッシャーの中、汗だくになりながらの表紙撮影でした。学生の楽しそうな実習風景とは別に、ひとりカメラのレンズを覗き込みシャッターを押していました。果たして表紙の写真はいかがでしょうか。今までは何気なく手にとっていた広報誌でしたが、今回、編集作業に当たり、紙面のレイアウトや写真一枚一枚にも、編集委員の先生方の思いや苦労があつて、これまで魅力的な「若きいのち」が生まれていたのだということを実感しました。これからは皆様に親しみやすく読みやすい広報誌を目指し、良き伝統を大切に頑張っていきたいと考えています。

さて、今回の特集では、社会人としての力を向上させることを目的として開講されている就職対策講座を取り上げました。専門的な知識のみならず、社会が求める人材をいかに教育し、学生に力をつけさせるかは、学生本人のみならず、大学・教員としても大きな課題です。

また新しいコーナーとして、学生のサークル活動を紹介しました。ここでは学生の生き生きとした姿をお伝えしています。どの活動にもパワーを感じ、今後ますますの活躍が期待されます。

これからも、「若きいのち」を通じて学生の教育・支援・活動などホットな話題が提供できるよう努力してまいりますので、引き続き皆様のご意見をいただくと幸いです。(阿部裕美)